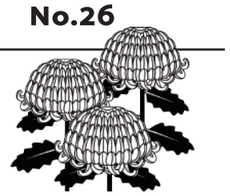
あかびら
市議会

KA かわ WA わ RA ら BAN 版

2013.11.1
No.26

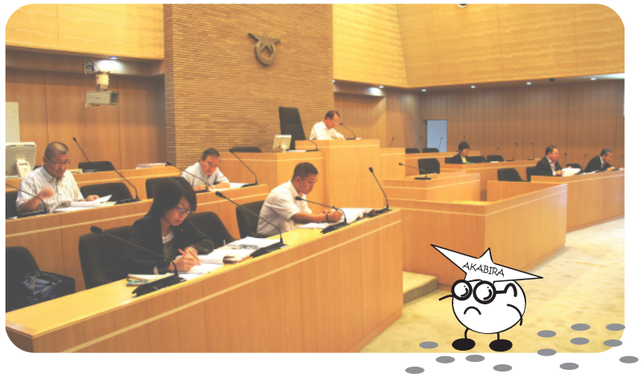
晩秋に咲く花「きく」
花言葉： 真の愛



9月定例会の主な議題

第3回定例会は、9月10日から20日までの日程で開催され、滝川地区広域消防事務組合への加入や平成24年度各会計の決算認定、補正予算など議案24件、意見書案2件を原案どおり可決・認定とし、平成24年度決算に基づく赤平市健全化判断比率、資金不足比率等の報告3件を報告済とし閉会しました。また、10・11日の2日間で6名の議員が次のとおり一般質問を行いました。

(質問・答弁の内容は、質問順で構成され、簡略化されています。)



民主クラブ

太田 常美

【質問】低所得者への生活支援について

①子育て世代に対して上下水道料金の減免措置を福祉担当課との連携によりできないか。

【答弁】今後、子育て支援策として「赤平市子ども子育て事業計画」を策定していくが、子育て当事者の参画により支援のあり方を図っていく。減免措置については子育て世帯以外の低所得者も含め総体的な協議が必要と考えている。

【質問】青少年育成支援と基金制度のあり方について

①スポーツや文化面だけでなく、あらゆる子供達の活動に対し、評価すべき。遠征等を含め広範囲に利用できる基金制度に改善し、すべての青少年活動に対処できるようにすべきではないか。

【答弁】当市には「赤平市青少年基金」があり、当初は青少年団体数も多く、また、補助額への基準も厳しく、遠征費用までには及ばなかった。最近は団体数も減少し、優秀な成績の子供達や団体も増えてきたため、補助額の基準を見直した。今後も基金制度のあり方や青少年育成支援についての協議を行い、幅広く基金を活用することができるよう努めていく。

公明党

五十嵐美知

【質問】今後のシルバーハウジング対策について

①福栄地区の中層住宅構造がバリアフリーであることから、管理人室を設け、緊急時連絡システムを導入することにより、将来的には高齢者住宅に転用することも可能ではないか。

【答弁】高齢化が急速に進む中で、高齢者の居住の安定確保は大変重要な課題である。住生活基本計画策定時には、総体的な公的住宅のあり方を検討する中で、シルバーハウジングの整備の必要性についても検討していく。

【質問】愛真ホームの老朽化対策と生活環境改善について伺う。

【答弁】開設時より35年経過し施設の老朽化が進み、点検強化、機器の交換など行い入所者の安全に配慮している。市立病院病棟改築により、病院との渡り廊下が無くなることから、入所者の急病時や介護職員の少ない夜間の対応について、安全確保を第一に検討を進めている。生活環境改善では、建物の全面改築の必要性はあると認識しており、今後の財政状況を見ながら検討していく。

【質問】災害時の要援護者避難対策では、弱い立場の人たちをどう守るかが大きな課題であり健常な方々と避難生活は困難と思う。病気、障がい、介護など必要な方々にあったサポート体制も含め福祉避難所の普及や整備について考えを伺う。

【答弁】障がい状況やより専門性の高いサービスを必要とする方々もおり、利用可能な施設の調査と市内社会福祉施設の受け入れなど十分協議し、「福祉避難所」の指定について検討していく。

【質問】いじめ対策について、この度文科省は単なる悪ふざけ行為でも、犯罪行為と認められれば直ちに警察へ相談・通報するよう学校に求める事になりました。例えばプロレスと称して押さえつけたり投げたりする事は「暴行」、断れば危害を加えると「脅し」、所持品を隠すは「窃盗」、壊せば「器物損壊」、行為によっては「犯罪」

← 他の質問内容は中表紙に続く。

議会の動き

6月

6/27　行政常任委員会
　・市立病院病棟建替について
　・カントリーサインについて
6/27　議会改革検討協議会

7月

7/ 4　行政常任委員会
　・市立病院病棟建替について
　・議会報告会における議会に対する意見，要望等について
7/11　鈴鹿市議会・矢板市議会行政視察
7/12　議会改革検討協議会
7/29　宮津市議会行政視察

7/11

8月

8/ 1　行政常任委員会
　・消防の広域化について
　・ごみ処理手数料について
8/28　行政常任委員会
　・市道豊通の道道昇格について
　・市立赤平総合病院の経理状況(5・6・7月分)及び病棟建替について
　・子ども・子育て会議について
　・除雪費助成事業の概要について
　・統合小学校に係る通学区域について
　　～ 中・北空知エネクリーン施設の視察 ～

8/28

9月

9/ 5　議会運営委員会
9/10　第3回定例会　(～20日)
9/10　議会運営委員会
9/12　行政常任委員会
　・赤平市立学校設置条例の一部改正について
　・赤平市子ども・子育て会議条例の制定について
　・赤平市廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部改正について
　・滝川地区広域消防事務組合への加入について
　・北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について
　・財産の取得について
　・損害賠償額の決定及び和解について
　・スーパープレミアム（20%）付まごころ商品券販売結果の報告
9/13　決算審査特別委員会（～19日）
　・平成24年度赤平市一般会計と特別会計等決算認定について

10月

10/1　行政常任委員会
　・地域おこし協力隊について
10/1　議会改革検討協議会
10/8　議員派遣(向井・菊島・竹村議員)　(～11日)
　(佐賀県武雄市・伊万里市行政視察及び全国過疎問題ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑながさき出席)

今月の一枚

8月31日の赤い羽根チャリティーにて
赤平議員合唱団が登場!!

編集後記

みなさま こんにちは!山の彩も落着き、冬支度を始めていることと思いますが、いかがお過ごしですか？この度は、９月議会の質問内容を中心にまとめ、各会派からの総括質疑も掲載させていただきました。議員がどんな質問をしているのかご興味のある方は是非傍聴席がお待ちしておりますよ～^v^

かわら版編集委員会 植村・五十嵐・向井・竹村

このかわら版のお問合せは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL 0125-32-1858までお願いいたします。

また、これまでのかわら版は、赤平市議会ホームページでご覧いただけます☆

赤平市議会　検索

となり処罰される可能性がある事を児童生徒、保護者も知るべきではないか考えを伺う。

【答弁】平成18年1月に地元警察署と「子どもの健全育成サポートシステム」において、重大ないじめ事案に係る警察との連携についての項目を新たに盛り込むなど変更協定を結んだところ。いじめ問題は自他のいのちの尊厳への問題でもあり、社会生活を営む上で重要な事柄で、ご指摘含め学校での取り組みの継続と強化を行って参りたい。

新政クラブ

北市　勲

【質問】安心して暮らせるまちづくりについて

①市立病院における診療科の休診時対応マニュアルを作るべきでは

【答弁】出張の医師がＪＲトラブルや吹雪等で病院に来られない時又は遅れる時は、連絡が入り次第患者に説明をして理解していただいているが、病院の信頼にかかわるので検討したい。

②災害に備え庁舎内に自家発電装置を設置すべきでは

【答弁】庁舎内には北海道とのネットワーク用と非常灯用の自家発電装置が２台設置されているが、災害時の対策本部機能の維持や必要最低限の電力を確保するため、自家発電の整備は必要であり、総合計画後期実施計画の中で検討していきたい。

【質問】教育行政について

①食物アレルギーの症状緩和剤「自己注射薬エピペン」について

【答弁】学校給食におけるアレルギー対応は事前に保護者と学校が協議し事故のないよう体制づくりを進めている。現在、エピペンの使用を処方される児童はいないこともあり、具体的な対応をとっていないが、今後、保護者や学校医と協議が必要と判断している。

②青少年基金の積立と運用について

【答弁】平成25年度現在約２，５００万円の積立金があるが、平成４年から現在まで積立は０で、寄付金と利息で運用してきた。今後、青少年団体の活発な活動により基金運用が厳しい状況となった場合は、市を含め青少年基金運営委員会で協議していく。また、今までの補助額では全国大会出場経費としては厳しい状況だったが、本年８月に補助額の基準を見直した。

新政クラブ

竹村　恵一

【質問】小中学校通学者に対する通学助成の考えについて

①当市の小中学校の統合は小中学校適正配置計画に沿って進められている。今後、小学校にもスクールバスが必要になる。公共交通機関利用に対して助成の考えはないか。

【答弁】当然通学区域が広くなるため、通学の利便性に考慮する。小学校においては１年生から６年生まで幅広い年代なので、スクールバスの運用を考えている。中学生においては公共交通機関の利用も視野に入れている。その場合の費用は支弁する方向で考え、保護者負担のないよう配慮したい。

【質問】地域と廃校施設の利活用について

①議会報告会の中で「平岸地区から小中学校の跡地は今後どうなるのか？大きな避難施設や町内会活動の場もなくなる。」との不安な声もあるが、今後の考えや方向性を伺う。

【答弁】平岸小学校については、公共施設専門部会で協議しているが、災害時の対応施設として閉校後も何らかの形で稼動させる方向で計画している。具体的には決まっていないが、本市全体の施設利用の考え方の中で十分協議して決めていく。

新政クラブ

植村　真美

【質問】自然エネルギーを取り入れたまちづくりのあり方について

①市全体で将来どのようなエネルギービジョンを描き、また、それに伴う地域企業との連携をどう図っていくのか。

【答弁】新たな自然エネルギーを利用するには、設備の設置業者が必要となることから、市内に設置できる業者があることが望ましいと考える。今後、自然エネルギーの情報については、商工会議所や建設業協会などを通じ、必要に応じて、市内業者に提供していく。

【質問】さらなる地域活性化の取り組みについて

①赤平市であることをさらに主張できる看板を国道沿いの市内出入り口に設置できないか。

【答弁】経費などを考慮すると、古い看板の見直しや、建替などで対応を考えたい。また、イメージ看板については、イメージ戦略として有効であると考えるが、当市のイメージとして、どのようなものが市民のコンセンサスを得られるのか、慎重な検討をしていきたい。

②市をＰＲするためのゆるキャラの起用について

【答弁】キャラクターの選定や着ぐるみの製作、活動費の捻出等、かかる費用もあることから、当市にもゆるキャラがほしいとの機運が高まるようであれば、検討の余地はあると考えている。

【質問】ごみのないまちづくりの見直しと推進の中で看板やノボリの作成の検討を。

【答弁】看板は、町内からの要望により随時対応している。ノボリ等については効果的な設置場所や時期、その表示内容について、予算面を含めて検討していく。

民主クラブ

向井　義擴

【質問】消防の広域化による消防職員の身分等について

①今回の広域化により赤平市と芦別市の職員は、当分の間、滝川地区広域消防事務組合に派遣職員という立場になるが、消防の仕事はチームプレイが基本となるので、広域事務組合の下で統一された身分をできるだけ早く実現すべきではないか。

【答弁】一定の検討期間は必要となるが、早い時期に課題を整理し、派遣職員から広域の職員として身分の統一ができるよう協議、検討をしていく。

【質問】民間跡地利用について

①冬期間の雪置き場としての市の取組み状況について

【答弁】所有者の好意などで、35か所利用させていただいている。近年町内会を通じての提供などがあり、今後も未利用地の増加が見込まれることから、課題を整理しながら利用に向けた検討をしていく。

【質問】遊休施設の活用について

①国は「要支援」向けのサービスを介護保険から切り離し、市町村の独自事業に移すとしているが、遊休施設のあり方を見直し、活用してはどうか。

【答弁】今後必要となる場合については、課題はあるが遊休施設を有効に活用していくことも検討していきたいと考えている。

【質問】文化施設について

①文化会館建設の要望もあり、総合体育館を体育・文化共用施設としての改修は考えられないか。

【答弁】当面予定されている病院、消防、学校などの整備が終った段階での事業として、遊休公共施設等整備計画の検討案に加えて取扱うことが相当かと考えるので、総合体育館の改修は最小限か、或いは現状維持とならざるを得ないと考えている。

今定例会の意見書可決は下記の２件

・地方税財源の充実確保

・若い世代が安心して就労できる環境等の整備

決算審査特別委員会　各会派市長総括質疑

平成２４年度の一般会計は、当初81億3,679万9千円で予算を編成し、その後、年度間に8回の補正を行った結果、最終予算額は90億5,569万7千円となりました。

新政クラブ

【質問】歴史文化遺産保存のあり方について、市全体のビジョンがなかなか定まらない様に見えることと、今後、市民との協議の場を作ることのお考えがあるのかを伺う。

【答弁】例えば、郷土館の必要性なども感じているが、財政状況を見ながら取り組んでいかなければならないところもあり時間を要する。市民との話し合いも必要と思っている。

民主クラブ

【質問】当市には、１００万円を上限とした２年返済の融資制度、中小企業振興資金融資制度があるが、近年はあまり利用者がいないとのこと。上限を５０万円に引き下げる等して、２０万円から３０万円程度の資金が借りられるよう、もっと使い勝手の良い融資制度に見直してはどうか伺う。

【答弁】景気の低迷とともに中小企業や零細企業の経営は大変だと思う。十分に考えられる余地があるので今後検討する。

公明党

【質問】自主財源が減少した中で市債が増加し歳出が減少した決算に対する見解について伺う。

【答弁】依存財源となる市債については、その年の建設事業によって増減する。前年度比で市債が増加した要因は、Ｈ２３年度まで産炭地基金を使ってきたが、Ｈ２４年度決算では、公営住宅や道路整備などの財源が市債に振り替わった事が大きな要素となった。自主財源は人口減少等の影響によって、市税や使用料も減少して行くので経常的な費用については歳入規模に見合った歳出の予算化を図っていくことが必要と考えている。